



民商会費の15日集金にご協力をお願いします。

核兵器のない世界を目指して・・・ 被爆72年

原水爆禁止世界大会長崎に萩丘支部の岡田さんと、東支部の疋田さんが加しました。その報告(抜粋)です。原文は民商事務所にあります。

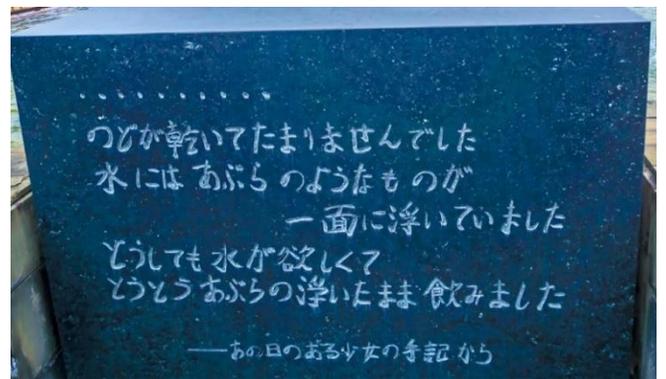
萩丘支部 岡田潤

被爆72年の今年、8/7-9の3日間、2017年原水爆禁止世界大会へ参加させていただきました。今年も国連、各国政府など21カ国96人の海外代表者と、全国各地から参加者が集い熱気あふれる大会になったのではないかと感じられました。

初日は長崎市長のあいさつ、国連代表、など、核兵器のない世界に向けて行動をテーマに海外代表の声明。国際青年リレー行進者のパフォーマンスで終了。核兵器禁止条約採択も重なって、熱気ある幕開けになったかと思えます。今大会に正式に参加した静岡県自治体首長は10市1町。浜松市に関しては残念でした。

8日は12分科会として「被爆遺構めぐり」へ参加。長崎市の人口24万人のうち約7万4千人を殺し、建物は約36%が全焼又は全半壊した、原爆のすさまじい威力を伝える国の登録記念物をみてまわる貴重な体験となりました。今も生々しく残る原爆の傷跡、きれいに整備されながらも当時の悲惨な状況を伝える碑などをまわり、被爆者の方のリアルな体験談を聞いてから見る長崎原爆資料館は、いっそう平和の大切さを実感するものでありました。

閉会式は立ち見のスペースを確保するのも難しいほどでした。長崎に原爆が投下された午前11時2分には、全員で黙祷を捧げました。



安倍首相が広島で核兵器禁止条約に背を向ける姿勢を示したこと、また長崎での被爆者代表から「あなたは、どこの国の首相なのか」問いかけに対する対応は、唯一の被爆国の首相の言動として許されるのか、恥ずかしく、悲しく、腹立たしい思いです。核兵器禁止条約にサインする政府を、私たちも求めていかなければいけないと思います。

東支部 疋田朋広

核の抑止力に依存している国は考えなくてはいけません。そして核の抑止力によって平和は訪れず、脅威はますます大きくなっていく。今年の代表者の多くが国連採択の場に日本がいけないこと安倍政権の危険な動向を批判する言葉が多かったです。

一日目は「核兵器を原発」に参加。「原発推進は憲法違反ではないか」核兵器と表裏一体の原発を推進、原発ゼロでも電気は足りている。多くの経費を国民に負担、原発を再稼働する理由が無い。無駄をなくし(武器製造・リニア・余分なインフラ)効率のよい家電、自然エネルギーの地産地消により積極的省エネとエネルギーの転換。ドイツ・イタリア・スイス・スウェーデン・ベトナム。台湾が脱原発、フクシマ事故の現状が理由。裁判による停止決定は憲法に基づく「人格権」。だからこそ原発推進は憲法違反。

印象に残ったのが北朝鮮がICBMなど開発し不穏な雰囲気はあるが原発がある日本で通常兵器で攻撃すればフクシマと同じ状況になる、日本のように原発のある国は戦争など出来る筈がない、戦争にならないということ。今回、韓国代表の方が北朝鮮に対してやっていることの正当化は出来ないが、北朝鮮の置かれている状況もわかると言うのも印象的でした。確かにアメリカ帝国主義の現代、力を弱めると韓国や日本のようになってしまう危険性はあるなども考えてしまいました。やはり対話こそが平和への道だと改めて思いました。

現地の学生達の発言がしつかりしているし数多くの学生達が署名なども行っています。平和教育をしつかりと授業に取り入れられているんだと感じます。何があったのかを学び、実際の声も聞く機会がある、教育というのとはとても大切なものだと思うのでぜひお子さんやお孫さんに行く機会を与えてあげてください。



いのちと健康を守り助け合う

家族ぐるみの共済運動を

22日に浜松民商共済会第33回年次総会を開催しました。共済会では「仲間への目配り・気配り・心配りと、助け合いの共済活動」と、集団健康診断の取り組みなどを振り返りました。より民商らしい共済運動への発展と継承をしようと確認しました。

今年もやります!

共済会特選バスツアー

毎年恒例の共済会バスツアー。今年も、「南知多・豊浜の活魚料理」を企画しました。

月日... 11月19日(日)

定員... 80名

参加費... 大人6千円、子供5千円

会員以外1万円

申込... 9月1日より受付開始

参加費を添えて、共済役員又は事務局まで。申込と入金を持って受付とします。お早めに申込を!



高すぎる国保の

値上げを許さないために

8月24日に浜松民商も加盟する浜松・国民健康保険をよくする会が、国保学習会を開催し、45名が参加しました。冒頭金子会長は「国民皆保険を守っていかななくてはいけない。更なる値上げを許さず、引き下げを実現させよう」とあいさつしました。

浜松市は政令市で最も国保が高く一人当たり10万⁸⁵⁴²円。低所得者の保険料も毎年上がっています。

来年度からは国保が県単位になり、保険料が値上げされる見込みで、徴収強化も予想されます。

浜松民商では国保値下げ等を求める署名を11月議会提出に向けて取り組みます。みなさんの一人ひとりの署名が、国保料値上げを止めるチカラとなります。積極的に取り組みましょう。



また、前日には浜松市国保運営協議会が開催され、駅南支部大石直裕さんが被保険者を代表する委員として参加し、業者や市民、低所得者の立場に立った意見や疑問点などをはっきりと伝えてくれました。

☆みなさんへ大事なお知らせ ☆

近年、浜松民主商工会では、会員のみなさんの「税務調査」が激減しています。自分の商売の内容は、自分が一番よくわかる中での自主計算運動が進んでいる成果だと思えます。税務当局も会員さんの記帳がしっかりしていると認めることが多くなっています。そのような中で、税務署の税務調査の選定では、

- ① 無申告者
- ② 売上金額の差異があるとみられる者

等が、多くなってきています。会員のみなさんは、①の無申告ということは、ないと思いますので、②の売上金額の差異があるとみられる者に該当しないように注意する必要があります。

法人の売上漏れの場合は、売上先等への反面調査をされることも当たり前で7年間分の調査をされたり売上漏れの金額が、全額、税金等にも変わるだけではなく、税務署のブラックリストに載り、税務調査が繰り返し、来ることになります。個人の場合も、法人と同じようなケースが多くなります。



10月22日(日)に浜松市民まつりを開催します。場所は昨年と同じ浜名湖ガーデンパークです。みなさんの積極的な参加をお待ちしております。

また、お楽しみ券購入のご協力をお願いいたします。今年の特賞は「ダイソータワーファン(空気清浄機付)」です。

10月22日(日)に浜松市民まつりを開催します。場所は昨年と同じ浜名湖ガーデンパークです。みなさんの積極的な参加をお待ちしております。

また、お楽しみ券購入のご協力をお願いいたします。今年の特賞は「ダイソータワーファン(空気清浄機付)」です。

国有地が格安で払い下げられた森友疑惑で「資料は全て破棄した」と、国民に対して不誠実極まりない答弁をし、政権を擁護し続けていた佐川財務相理財局長が国税庁長官に就任しました。みなさんも怒りを覚えたことでしょうか。

8月21日付商工新聞2面に、西支部の櫻井幸夫さんが私たちの怒りを文章にした「異議あり！ 佐川国税庁長官就任」の記事が掲載されました。

安倍政権が続けば、このようなことが繰り返されることは明白です。政治を変え、私たちの生活と営業を守るために、署名や選挙などに本気で取り組んでいきましょう。



今後の予定

- 9 / 2(土) 無料法律相談日(要予約)
- 2(土)-3(日) 全国商工業交流研究集会 in 豊橋
- 7(木) 国保出前講座
- 24(日) 消費税廃止署名行動
- 10 / 7(土) 無料法律相談日(要予約)
- 22(日) 浜松市民まつり
- 24(火) 対静岡県交渉
- 26(木) 全国業者婦人決起集会

税金対策部会・自主計算対策部会からみなさんへ訴え

以上のことから、自主計算運動を進める上でも、最重点に売り上げの落としがなにか再度チェックを行っていただくよう、訴えます。

税金対策部会 部長 大石 優
 自主計算対策部会 部長 山本秀樹